

11/10(火)に1学年分野別オンライン研修を実施しました！



昨年度に引き続き今年度もオンラインで研修を実施しました。全14講座の中から、各生徒が希望する2講座を教室で受講しました。研修の目的の一つは「質問力」を高めることです。質の高い質問を考えるためのワークシートを使い、講義後の質疑応答では非常に多くの生徒が画面越しでの質問に挑戦しました。また、最先端の研究や事業についての講義・演習を通じて、進路選択やキャリアについて考えるきっかけを得ることができました。

午前 No.	研修依頼先	午後 No.	研修依頼先
1	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	7	国立感染症研究所感染病理部
2	順天堂大学国際教養学部グローバル・ヘルスサービス領域	8	株式会社ベネッセコーポレーション 学校カンパニー 東日本教育支援推進部
3	弁護士法人東京新宿法律事務所 神奈川県弁護士会 弁護士法人東京新宿法律事務所 新宿本店第二東京弁護士会	9	福島再生可能エネルギー研究所
4	スバルリビングサービス株式会社 スバルファイナンス株式会社	10	東北大学工学部機械知能・航空工学科
5	筑波大学生命環境学群生命環境系	11	東京都立大学都市環境学部都市政策科学科
6	東京大学大学院情報学環	12	東京工業大学リベラルアーツ研究教育院
		13	早稲田大学人間環境科学科
		14	北海道大学文学研究院行動科学講座

＜生徒の感想より抜粋＞

(講義5より) 今回の講義では、地球温暖化が進む地球で「水」という貴重な資源について、人間との関わりとともに学ぶことができてよかったです。人口増加による水不足については初めて学びました。農業で使われる水は生活・産業用水よりも多いので、農業の方法を改善することで水不足の解決につながるのかなと思いました。

(講義8より) アプリをつくるにしても、キャンペーンを実施するにしても、ターゲットにする課題に加えて、プロジェクトにかけられる時間や、他社との競合状況等を考えなければならず、企画することは簡単ではないと感じました。30分真剣に考えるだけでも面白いアイデアが思い浮かんできたので、日常生活の中でも「こうしたら・・・こうなる」と考えて、生活していきたいです。とても楽しく発見のある講座でした。



11/3(木・文化の日)に科学実験教室を開催しました！

地域に貢献し、科学の面白さを小学生に伝えることを目的とする「科学実験教室」を、物理・科学部が本校の化学実験室で行いました。コロナ対策を講じながら、小学生14名を迎えて無事に実施することができました。

実験・体験テーマは、①液体窒素実験②AIプログラミング③大気圧実験④瓶ころでした。クイズや工作を交え、原理の説明はパワーポイントを使用し、楽しさと分かりやすさを追究しました。また、今年度は GoogleTeachable Machine とスクラッチを連携したゲームプログラミングや、瓶の中に小球や粘性液体をいれることで坂道を転がる最も「遅い」時間を競う瓶転がし対決「瓶ころ」など、課題解決型のワークショップも取り入れました。

小学生の感想(抜粋)

- ・ 液体窒素でものを凍らせるのが面白かった。
- ・ 液体窒素の実験は色々固めていて面白かった。
- ・ 液体窒素でバナナが凍るのがすごかった。
- ・ 説明がわかりやすく、(体験も)やっていて楽しかった。
- ・ 大気圧実験は、話の進行と富士山のクイズが面白かった。
- ・ ビンコロは、すごく試合が白熱した。
- ・ ビンコロはとても熱戦になっていて楽しかった。
- ・ ワクワク実験教室に来て科学が好きになった。
- ・ 面白くて、科学についてたくさん知れたので嬉しかった。
- ・ 当たり前なものに対しての関心が深まった。とても楽しかった。
- ・ 入部したくなった。

部員の感想(抜粋)

- ・ 小学生たちが科学に興味を持ってくれて嬉しかった。
- ・ 成功したこともあれば、「こうすればよかった」と思ったこともあったので、改善点および解決方法を明確にし、来年度のわくわく実験教室に生かしていきたい。
- ・ スライドを作る力や発表の際のコミュニケーション能力、実験力などが身に付いて良かった。
- ・ 企画運営の中で、大人数を動かすために大切なことと、自分に足りないことがわかったので、今後に生かしていきたい。
- ・ 実際にやってみて、良かったところや課題が出てきたので、来年はクオリティの向上を目指したい。
- ・ 小学生の反応が中学生体験入部のときとは異なり新鮮だった。

